

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	たからばこ		
○保護者評価実施期間	R8年2月6日		～ R8年 3月 6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数) 12名
○従業者評価実施期間	R8年2月6日		～ R8年 3月 6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者様とのやり取りを通じて、現在行っている支援についてご理解をいただけていること。	連絡ノートや電話等での情報の共有や面談や支援計画などを説明する際に必要なやりとりや説明を丁寧に行うよう心掛けています。	今後も保護者様との連絡を密に行い、より信頼につなげていけるよう取り組んでいきたい。
2	子どもたちが安心感や楽しみに思い、当事業所に来所してくれていること。	子どもたちが楽しく感じてもらいつつ、支援していけるよう、職員間でアイデアを出し合い、活動の立案などを行っています。	今後も、子どもたちが安心感や楽しみに思い、当事業所に来所してくれるよう、活動内容の工夫や、職員と子どもたちのコミュニケーションをしっかりと図って、良好な関係の構築に努めていきたい。
3	生活空間について、保護者様から子どもにわかりやすく構造化された環境になっていること、事業所の設備等が、障害特性に応じてバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていることと評価いただけたこと。	活動内容に合わせ、空間を仕切ることができるよう、釣り下げ式の間仕切りを導入したこと。イラストなど目で見分けるような表現方法も導入し、子どもたちへの情報伝達に配慮している。	子どもたちの成長などに合わせ、職員同士で最適な環境にすることができるよう、日々コミュニケーションを密にしていける。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が保護者様に周知しきれていなかった。	定期的にもマニュアルの周知の連絡と事業所に掲示するなどしていたが、うまく周知につながっていなかった。	定期的にもマニュアルの周知の連絡と事業所での掲示を続けていくとともに、ホームページの拡充を行い、より分かりやすく伝えられるよう工夫していきたい。
2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練について保護者様に実施状況が伝わり切っていなかった。	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を実施していたが、周知が不十分であった。	お便りやSNS、ホームページなど活用しながら周知の徹底に努めていきたい。
3	保護者会等の開催等、保護者同士の交流の機会がなかなか設けることができていなかった。	保護者様に交流の機会があったと思っていただけるだけの、機会の提供には至っていなかった。	保護者の皆様のニーズを確認しつつ、必要時に開催できるように努めていきたい。